



おいかみ 伝承スポット ⑦南笠の“一本木”

通称“一本木”は南笠公民館から田畑を挟みすぐ北にあります。南笠町の治田神社には弁財天社と一本木という御旅所があり、一本木は山の神の祭地でもあります。神社では毎年1月の第2日曜日早朝、役員さんが集まり前年秋に刈り取った餅藁で4メートルもの大蛇を編みます。その後神社本殿前で式が行われ、一同弁天池の中にある御旅所での式を経て、蛇の終着点であるこの一本木に運びます。



一本木

一本木にはその名の通り一本のミズの木の大木が立っています。そこには小祀がありその前で祀り、今年の豊作、安全、繁栄を願って祝詞が上げられ、最後ミズの木の下に頭を町内の方角に向けトグロを巻いた蛇が据えられます。

(治田神社宮司 深田義秀)



据えられたわらの蛇



治田神社で作られる蛇 平成30年1月14日

■編集・発行 老上学区まちづくり協議会
■〒525-0055 滋賀県草津市野路町 520 番地
草津市立老上まちづくりセンター内
■Tel & FAX (077) 564-1430
■E メール oikami@machikyou.jp